

令和3年度 第2回スポーツ推進審議会 議事要旨

日 時	令和3年10月8日(金) 13:35～15:20
場 所	第3委員会室
参 集 者	委 員／中條庸右、齋藤 隆、佐藤紀巳雄、齋藤 勉、田中 学、 出嶋 幸、角南俊介 (Web参加)、大滝美樹、穂積 祥 酒田市／鈴木教育長、池田教育次長、齋藤課長、樋渡補佐、 長谷部補佐、土門主査兼係長、乙坂係長
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ R3 審議会委員名簿 ・ 資料 1 令和3年度スポーツ振興課における各種事業の実施状況 ・ 資料 2-1 令和3年度の事業進捗状況及び令和4年度の予算要求に向けて (基本目標Ⅰ) ・ 資料 2-2 令和3年度の事業進捗状況及び令和4年度の予算要求に向けて (基本目標Ⅱ) ・ 資料 2-3 令和3年度の事業進捗状況及び令和4年度の予算要求に向けて (基本目標Ⅲ) ・ 資料 2-4 令和3年度の事業進捗状況及び令和4年度の予算要求に向けて (基本目標Ⅳ) ・ 資料 3 酒田市総合計画等の策定及び見直しについて (案) ・ 参考資料 酒田市総合計画 (スポーツに関係する部分: 1-3、1-4) ・ 参考資料 酒田市総合計画等の策定及び見直し資料 (第1回酒田市総合計画審議会)

1. 開 会 (略)

2. あいさつ (教育長)

- ・ 部活動の地域移行について、文部科学省で昨日やっと「運動部の地域移行を進める課題を検討する有識者会議」の初会合が行われた。提言を来年7月にまとめると言っている。課題があまりにも多すぎるので、私たちとしてはできるところから少しずつやっていければ良いかなと考えている。国の動きを見ながら、今後、皆様から集まっていただく機会を設けて意見を頂きたい。
- ・ 文部科学省は教員の働き方改革ということでこの話を出してきたが、一番は子ども達の部活動 (文化部も含めて) の環境づくりをどう作っていったらあげられるかだと思う。ゆっくりでも着実に前に進めていきたいと思っている。
- ・ 昨日スポーツ庁でも第3期スポーツ基本計画に関する会議があり、来年度からの5か年計画を策定している状況にある。その中では中学校部活動の地域移行について、学習指導要領の部活動の位置付けを見直してといった文言が付いている。正式には出ていないが、提言としてまとまってくるとまたさらに大きく変わってくると思う。
- ・ 令和5年度からの移行というのが独り歩きしてしまっているが、5年度から段階的に進めていってほしい、という意味だと考えている。最初から完成形のものを目指すのではなくて、できるところから中心に子ども達を置いて進めていきたいと考えている。

- ・本日の審議会では、3年度の進捗状況とか、来年度の予算要求に向けて基本的な考え方など事務局より説明があるので、皆さまからそれぞれの立場での忌憚のない意見を頂戴したいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

3. 協議（進行：会長）

（1）令和3年度における各種事業の実施状況について【資料1】

（資料に基づき、事務局説明）

特に質疑応答なし。

（2）令和3年度の事業進捗状況及び令和4年度の予算要求に向けて

I 誰もが楽しめる生涯スポーツについて【資料2-1】

（資料に基づき、事務局説明）

【質疑応答】

- （委員）スポーツ行事への参加者数で令和11年度の数値目標が38,000人となっている。全体的に人口が減っている中で、人数の数値目標で良いものか。何%とかだと理解できるが、このままでいいのか疑問に思った。
- （委員）東京オリンピックで若者がスケボーやボルダリングなどで活躍した。誰もが楽しめるスポーツ機会を考えると、子ども達や若者にこのようなスポーツに触れさせるとしたら市内のどこでできるものか。先日、山形新聞に寒河江のスケボーパークの記事が掲載されていた。県とタイアップして2億円のスケボーのパークを整備すると書いてあった。寒河江市は近隣の若者を呼び込もうという狙いもあるのかと思う。
- ⇒スポーツ行事開催事業等で今のところは延べ人数での目標設定となっている。スポ少についても当初、登録人数で目標数値を設定していたが、児童数が減少することから加入率を設定することに変更した経緯がある。今のスポーツ行事への参加者数も、延べ人数にはなるが人口に対する参加率に変えることができれば分かりやすくなると思う。総合計画の見直しもあるので、担当課と相談しながら変更できれば変更していきたい。
- ⇒スケボーについては、把握している施設としては八幡斎場近くや港にも専用施設がある。数年前にスケボー愛好者の方々と意見交換をする機会があり、利用者数が少なくなっている市体育館でスケボーできるかどうか検討に向かったことがあったが、耐震の関係があり、話が立ち消えた経緯がある。スケボーパークが寒河江市に整備されるということなので、市の財政を考えると利用できる箇所に市民を誘導するような何かしらの対策が必要だと思う。スケボーに限らず体を動かして楽しめるスポーツとして生涯スポーツ、特にニュースポーツに力を入れていきたいと思う。

II 感動と活力に満ちた競技スポーツ【資料2-2】

（資料に基づき、事務局説明）

【質疑応答】

- （委員）現状と評価の箇所で全日本シニア・マスターズ体操競技選手権大会について、無観客ということで本当に残念だった。トップアスリートに触れる機会ということで、数年一度と言わず、2年に一度など開催に向けて動いてほしいと思う。大相撲でも北の若が頑張っている。幕内などに入ってくるともっと盛り上がってくる。巡業等と呼ぶなど働き掛けを考えていければと思う。駅伝に関して、自分の知っている酒田飽海チームは本

当に強かった。栄光を再びプロジェクトのような事業を展開することを期待したい。例えば、強い選手を市役所職員として採用して、酒田飽海チーム選手として走らせて酒田を盛り上げていく。

⇒新しい発想もあるが、検討させていただく。

Ⅲ スポーツによる賑わいとまちづくり【資料2-3】

(資料に基づき、事務局説明)

【質疑応答】

○(委員) 湊酒田つや姫ハーフマラソン大会について、自分の幼稚園の保護者も参加しており、メタボ解消、運動不足解消に少なからず役立っていたと思う。マラソン大会のような全国規模のイベント開催が難しいのであれば、せめて市民対象にした小さな大会でもいいので開催できないものか。隣の遊佐町でイベントが中止となったが、その代替りのイベントとして、地域でスイーツランなるものが開催されると聞いた。大きな大会がなくなったとしても規模を縮小してでもスポーツ人口を減らさない対策が必要だと思う。

○(委員) 幼稚園の運動会などで国体記念体育館や親子スポーツ会館などを利用させていただいた。学校の体育館を借りていたのが、申請をすれば使用料が減免になるので体育施設を利用した。ただ、使用料収入など予算という所では私たちも考えていかなければならないと思った。

⇒つや姫マラソンは10キロとハーフの部門に限定して、日ごろから走っているアスリートの方々を対象にして(2,000名→1,200名に削減)開催しようとした。小さいイベントということで酒田市民だけを対象にした大会だとしても、開催にあたってはそれなりのお金が掛かり、市の持ち出しが多くなることもあり意見として頂戴する。

⇒その中で取り組みとして挙げたオクトバーラン&ウオークは、山形新聞発刊145周年記念事業に乗った事業である。密にならずに気軽に取り組むことができ、県内や市内のランキングが出るものである。運動不足解消につながるものと思っている。

⇒園事業については平日であれば空きがあると思うので、ぜひ今後も体育施設を活用いただきたい。

○(委員) この「スポーツによる賑わいとまちづくり」は、すごく良い目標だと思う。他では出てこないものだと思う。経済界などの他団体と連携して酒田のスポーツを盛り上げてほしいと思う。イベントなど中止になっているものが多く、中止にするのは簡単だが、withコロナ、コロナ禍だからこそ柔軟な発想をもって実施できるものを作っていくことが大事だと思う。

○(委員) 幼稚園児が大きい体育施設で伸び伸びと走り回れることはとても良いこと。これからは前向きに検討していただきたい。

○(委員) コミ振主催の運動会が昨年度も今年度も中止となり、小学校にとっては非常に痛手だった。今年度はやる予定で準備を進めていたが、県の特別集中期間が9/12まで入った関係から延期にできず中止にした。県の警戒レベル4に準じて学校行事、地域行事の開催の判断をしていた。市の中でも感染状況や感染者数など違うわけなので、その辺を考慮したうえで、子どもや地域を活かす意味でも細かい情報を出していただいて、学校経営をさせていただくとありがたい。

⇒地区運動会の中止については、市民体育祭の関係もあったが各地区の判断によるもの。市の方が主体的に最初から中止をしたものではない。市民体育祭は、参加意向調査を実施したら参加地区が少なかったため中止とした。

⇒教育委員会全体として、教育長は「まず子ども達への学習の保障をしなければならない」ことを大前提にしている。去年は春に学校が休校になり、子ども達が勉強できない期間があった。夏休みを短縮したり、色々な工夫をしたりして勉強の遅れを取り戻したことがあった。満12歳からワクチン接種が打てるが、ほとんどの小学生はワクチン接種ができない状況。国は接種年齢を5歳まで引き下げようかと検討しているが結論は出ていない。教育委員会が考えることは、まず子ども達を守ること。そういう点では、スポ少の活動をいつも一緒にいる人たちだけでやろうということ、学校開放も色々な人が利用することでウイルスが入り込んでくるかもしれないので11月末まで中止にしている。ワクチンの接種率が上がってくれば、集団免疫が上がってくればそういった心配もなくなってくるかと思う。

⇒ひとつ参考になるか分からないが、八幡の八森地区で発掘調査があり、東北大生がゼミの活動として平田地域で合宿をしながら遺跡発掘をしたいと話していたが、コロナウイルス感染症について不安に思った地域の方々がいたので、結局ホテルに宿泊することになった。

○（委員）確かに巡回駅伝大会を中止した際も、中継所役員として協力できないという地区があった。選手は出たいが、役員が協力できないのであれば大会ができない。また、コロナ禍だから集まりたくないという声はあるようだ。

○（委員）学校開放については、いつもほとんど同じメンバーで活動している人たちなので、何とか早急に再開してほしいという声を聞いている。コロナ禍でも以前は使っていた人たち。社会人だけ制限されるのはおかしい。あちこちの体育振興会から市教育委員会へ再開について要請してほしいと言われている。地域でも学校が利用できないので、スポーツ大会を中止せざるを得ない事態になっている。

○（委員）学校開放が先生の負担になると言うが、自分はないと思う。学校の消毒作業についても、お手伝いしていたサポーターの配置について予算がなくなったから配置しないと、そんなことで良いのか。そんな対策の仕方はないと思う。

○（委員）令和4年度予算要求に向けての最後の部分、ニュージーランドのスポーツ選手たちとの交流及び競技力向上を支援していく、とあるが、具体的な青写真のものはあるのか。

⇒関係課と協議中である。具体的なものはまだ決まっていない。オリンピック後でニュージーランドとの交流はしなければならないという認識はあるが、具体的なものは協議中である。

○（委員）鶴岡市ではアーチェリー競技の関係で韓国から選手を呼んできた。その経費は県または国だったかと思う。私はニュージーランドから強い選手を呼んで、市役所へ入れて県縦断駅伝へ出してもらうことを提案したい。

⇒ニュージーランドの件については、去年と今年で事前合宿を実施する予定だったがコロナの影響により中止になった。その前は1名か2名のニュージーランドの選手がおしんレース大会に参加して、庄内トライアスロン協会の選手たちの合同練習を実施した経緯がある。ニュージーランド側は選手の自立を、こちらは競技力の向上を目的にこの事業に取り組んできた。市としては、スカラシップ制度を設けて渡航費及び滞在費の一部を補助して事業を進めてきたものである。予算はホストタウン推進協議会の予算である（交流観光課が担当）。

○（委員）交流ということなので、ぜひニュージーランドにも派遣しても良いのではないか。

⇒話を少し前に戻らせていただく。委員の意見についてであるが、市の事業として大きな大会はできていない状況にある。市民の運動不足解消に対しては、スポーツ振興を進めてい

くうえで、体育振興会とスポーツ推進委員会の協力無くしては進まない。昨年度はスポーツ推進委員の意見を頂きながらフロアカーリングやモルックなど、地域でスポーツ推進委員が企画した運動教室で使用する道具の購入費を助成した。また、手軽にできる運動としてウォーキングがあるが、ノルディックウォーキングというものもある。これは身体の90%の筋力を使う運動の効果があると言われている。陸上競技場と国体記念体育館に合わせて40セット道具があり、無償で使えるので活用いただきたい。大きいイベントでなくとも、小さい大会というか、体を動かすことは可能なのでぜひ利用いただきたい。

- （委員）大人も子どもだったわけで、体を動かすことが大好きだったはずなのに、どの辺から運動することが億劫になってきたのか疑問に思うことがある。犬を飼っている人は雨の日も風の日も散歩に行く。モチベーションを自分で作って運動をすることが大切かなと思う。園でも運動するきっかけづくりとして小さいうちから何か取り組みをしていきたいと思う。

⇒松山や平田などウォーキングコースを設定したウォーキングマップもあり、コミセンに置いてあるのでぜひ活用いただきたい。

IV 安全安心なスポーツ活動のための環境整備【資料2-4】

（資料に基づき、事務局説明）

【質疑応答】

- （委員）コロナ禍でも中体連の大会が開催できており、多くの施設を利用させていただいていることに感謝を申し上げる。施設を利用させていただいたうえで各競技担当より、気になった点を伺っているので、年次計画等に入っていることと思うが、何点か話をさせていただく。市体育館は卓球で使用するが多いが、照明が暗くて隅の方ではボールが見えない状態で競技進行に難しい面がある。感染対策として1時間置きに換気をする対策をしているが、換気をしようとして窓を開けようとしたら窓枠ごと落下したという事例があった。下に人や車などいなくて大事に至らなかったが、そういったことがあった。国体記念体育館の雨漏りもひどくなってきた。あと、光ヶ丘野球場では見る方のマナーもあると思うが、無観客で試合開催をしていた際、外野フェンス（レフトスタンド脇）の金網に穴が開いて破れているため、そこから自由に球場へ出入りしていた人がいたと聞いた。年次計画の中で改修をしていただければ、子ども達も思いっきりプレーできるかと思ったところである。

⇒市体育館については、47インターハイの際に造った施設でかなり古くなってきた。今後の取り扱いについて改修や廃止など、どのようにしていけばよいか協議しているところである。国体記念体育館の雨漏りについては、近いうちに対処できるかと思っている。野球場の照明は今年度に調査をしたが、思った以上に錆がひどく、安全面から3塁側の観客席は座れない状況にある。照明についてはかなり高額になるようですぐには対応できないと思っている。外野フェンスの金網については、現地を確認する。

- （委員）全ての事業に関連することだと思うが、周知面について。例えば、スケボーができる場所はどこなのか、やる人は知っているが、新たに始めたいと思う人たちには情報量が少ない。それで公道でやっている状況にあると思う。市公式のラインでイベントや施設情報等を出してあげると、今はコロナの感染状況などラインを確認している人が多いと思うので、効果があるかと思う。オクトーバーラン&ウォークについても、10月1日からスタートする事業だったが、10月1日号広報紙に掲載されていた。もう少し早く情報掲載したら人数も増えていたかと思う。元気王国で開催しているバク転教室だが、当初なかなか人

気がなく細々とやっていたが、SNS で情報を拡散してくれる人がいて、今では「体験したい」という参加者が多くなって困るくらいになっている。ぜひ、市役所でもスポーツを身近に感じられるように SNS を活用してほしい。

- （委員）2-1 の成人の運動参加率が非常に上がっていることを見て、都市部でもコロナ禍で運動参加率が二極化していると報告がある。運動参加率が上がっている状況を契機に、今後も継続して運動することを促していくことが重要である。
- （委員）酒田市のワクチン接種率も良い状況のようである。全国的に接種率が上がり、県境をまたいだ移動が増えるようになってくると予測も出ているので、今年のうちには小さい大会でも開催して、どんどん大会のシミュレーションを進めていくことがすごく重要なことだと思った。そうしておけば、来年度への道筋もある程度見えてくるはず。おそらくワクチンパスポートもできてくると思うし、他自治体もどんどん取り組んでいくと思う。
- （委員）ワクチン接種は12歳未満が打てない現実があることから、成年から上の世代と子ども達を分けて、12歳以上は早めに進めて、それ以下はまずは身体を守ることを最優先にしながら、大人の方でやっていくことで子どもにできる道筋をつけていくことができると感じた。

（3）その他

●酒田市総合計画（後期計画）の策定について【資料3】

（資料に基づき、事務局説明）

【質疑応答】

- （委員）総合計画を何回も読んだ。基本的には、あまり具体的な表現でない方が良いと思った。新規項目については、あまりにも具体的な表現のように思える。体力低下、豊かな心と健やかな体の育成とあるが、中学校部活動など、子ども達のスポーツに対する欲求に応えられているのか、私は応えられていないと思う。世界で活躍できる子ども達の育成など、この程度いいのではないかと思う。それから、トップアスリートを育成するのにスポ少が追加で入ったが、理念と外れるように思う。スポ少はトップアスリートを育成する団体ではない。強い選手を作るためのスポ少ではないと考えると、危険性がある。

【一人1スポーツの推進】の新規項目については、あまりにも具体的な表現だと思う。現状の箇所は大雑把で抽象的な表現で良いと思う。スポ少については違和感を感じたので検討いただきたい。

- （委員）「トップアスリートを育成するためには」の表現についてだが、私は「育成するためには、スポーツ少年団のスポーツ環境の整備」が必要で、あくまでも「環境の整備」と読んだ。読む人によって捉え方が異なるので注意しなければいけないが、自分はこの表現で問題ないと思った。

⇒総合計画への記載については、細かくするか大雑把にするか、今後検討させていただく。やはり総合計画に位置付けないと、予算付けもしにくい部分もあるので、これから来年度の見直しに向けて動いていきたい。

- （委員）コロナ禍で散歩する人を目にする機会が増えているように思う。地域でウォーキングするための安全な場所を設定することが必要だと思う。

- （委員）学校開放が中止になっている。コミセンのホールでは卓球しかできない。早期に学校開放を再開してほしい。

⇒来年度の事業について、資料 2-3 の関連事業に「スポーツ行事開催事業」というものがあるが、今は計画の目標Ⅲに位置付けられているが、中身を見ると色々な目標にぶら下がるものがあるということで、来年に向けて、スポーツ推進計画に沿った形で、事業名称を変更しながら分解・組み立てを考えている。その点についても2月か3月の次回の審議会で示したいと考えている。

○（委員）「一人1スポーツの推進」のフレーズは20年から30年前ぐらい前から使っているフレーズのように思う。新しいものはないものか。ぜひこの辺りも検討いただきたい。

⇒担当課に確認して、変更できる箇所であれば変更していきたい。

4. その他

○第29回山形県スポーツフェスティバル山形県スポーツ・レクリエーション祭
ふれあい交流部門（庄内地区）について（委員より情報提供）

5. 閉 会（略）

以上